



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト 上場取引所 東  
 コード番号 9266 URL https://ikkadining.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武長 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 広宜 (TEL) 047-302-5115  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,649	—	△16	—	△15	—	△12	—
30年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△4.22	—
30年3月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成30年3月第1四半期において四半期財務諸表を作成していないため、平成30年3月期第1四半期の実績並びに平成31年3月期第1四半期及び平成30年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 平成31年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,481	1,080	31.0
30年3月期	3,641	1,110	30.5

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,080百万円 30年3月期 1,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,232	17.6	297	21.7	293	20.4	187	21.3	60.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期1Q	3,070,400株	30年3月期	3,069,600株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	一株	30年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期1Q	3,069,679株	30年3月期1Q	一株

(注) 当社は、平成30年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成30年3月期の期首より株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調にあるものの、米国政権の動向などによる世界経済の不確実性などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、業界全体として緩やかな回復基調にあるものの、人材不足の深刻化による人件費・採用費の上昇、原材料の高騰や企業間競争の激化など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、事業の拡大、優秀な人材の確保及びサービス力向上に注力して参りました。

飲食事業においては、都内を中心に主力業態の新規出店、サービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリ会員の獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。新規出店に関しては、山手線沿線の都心部への出店（屋台屋博多劇場池袋東口店・大手町店・高田馬場店）の他、小田急線沿線への出店（屋台屋博多劇場町田店）、埼玉県への出店（屋台屋博多劇場武蔵浦和店）により直営店5店舗を出店し、直営店が合計で51店舗となりました。また、継続的な会員獲得、自社アプリでの販促企画により、リピーター客数も好調に推移しております。

ブライダル事業部においては、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加に継続して注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,649,303千円、営業損失は16,934千円、経常損失は15,294千円、四半期純損失は12,951千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

売上高は1,063,733千円、セグメント損失（営業損失）は40,308千円となりました。

#### ② ブライダル事業

売上高は585,570千円、セグメント利益（営業利益）は23,374千円となりました。

なお、当社は前第1四半期累計期間においては、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期比は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （総資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、新規店舗のオープンに伴い有形固定資産合計が157,979千円増加したものの、現金及び預金が320,533千円減少したことなどにより、3,481,832千円（前事業年度比159,512千円の減少）となりました。

#### （負債）

当第1四半期会計期間末における負債は、未払金が109,708千円増加したものの、未払法人税等が75,794千円、1年内返済予定の長期借入金が32,013千円、長期借入金が122,860千円減少したことなどにより、2,400,957千円（前事業年度比130,170千円の減少）となりました。

#### （純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が12,951千円減少したことなどにより1,080,874千円（前事業年度比29,341千円の減少）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績が概ね当初計画どおりに進捗していることから、平成31年3月期の業績予想については、平成30年5月14日公表の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の予想を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,347,881	1,027,347
売掛金	99,330	87,335
原材料及び貯蔵品	25,470	26,585
その他	108,342	109,182
貸倒引当金	△720	△509
流動資産合計	1,580,305	1,249,942
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,641,256	1,753,642
減価償却累計額	△426,696	△453,250
建物(純額)	1,214,559	1,300,391
その他	447,381	537,571
減価償却累計額	△285,516	△303,558
その他(純額)	161,865	234,013
有形固定資産合計	1,376,425	1,534,405
無形固定資産	13,749	20,673
投資その他の資産		
敷金及び保証金	418,475	430,996
その他	248,990	242,735
投資その他の資産合計	667,466	673,732
固定資産合計	2,057,641	2,228,810
繰延資産	3,399	3,079
資産合計	3,641,345	3,481,832

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,702	146,681
1年内返済予定の長期借入金	583,619	551,606
未払法人税等	84,552	8,758
未払金	263,551	373,260
その他	211,200	237,033
流動負債合計	1,288,626	1,317,339
固定負債		
長期借入金	983,528	860,668
資産除去債務	207,238	219,572
その他	51,735	3,377
固定負債合計	1,242,502	1,083,617
負債合計	2,531,128	2,400,957
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	364,993	365,026
資本剰余金	338,993	339,026
利益剰余金	412,443	399,492
株主資本合計	1,116,431	1,103,546
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,214	△22,671
評価・換算差額等合計	△6,214	△22,671
純資産合計	1,110,216	1,080,874
負債純資産合計	3,641,345	3,481,832

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,649,303
売上原価	557,374
売上総利益	1,091,929
販売費及び一般管理費	1,108,863
営業損失(△)	△16,934
営業外収益	
受取利息	3,857
受取手数料	350
その他	1,081
営業外収益合計	5,288
営業外費用	
支払利息	2,316
その他	1,332
営業外費用合計	3,648
経常損失(△)	△15,294
特別損失	
固定資産売却損	43
特別損失合計	43
税引前四半期純損失(△)	△15,337
法人税、住民税及び事業税	2,105
法人税等調整額	△4,491
法人税等合計	△2,386
四半期純損失(△)	△12,951

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。